

製品名: mAChR M5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13546**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CHRM5
別名	CHRM5; Muscarinic acetylcholine receptor M5
遺伝子 ID	1133.0
SwissProt ID	P08912
免疫原	抗血清はヒト CHRM5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

背景

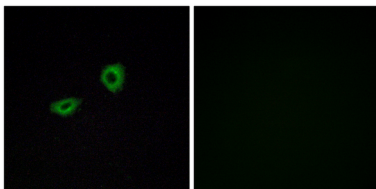
ムスカリン性コリン受容体は、G タンパク質共役受容体のより大きなファミリーに属します。これらの受容体の機能的多様性は、アセチルコリンの結合によって定義され、アデニル酸シクラーゼ阻害、ホスホイノシチド分解、カリウムチャネルの調節といった細胞

応答を含みます。ムスカリン性受容体は、中枢神経系および末梢神経系におけるアセチルコリンの多くの作用に影響を与えます。この受容体の臨床的意義は不明ですが、この受容体を刺激するとサイクリック AMP レベルが上昇することが知られています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能：ムスカリン性アセチルコリン受容体は、アデニル酸シクラーゼ阻害、ホスホイノシチド分解、G タンパク質の作用を介したカリウムチャネルの調節など、様々な細胞応答を媒介します。主要な伝達効果はリン脂質のターンオーバーです。、類似性：G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、

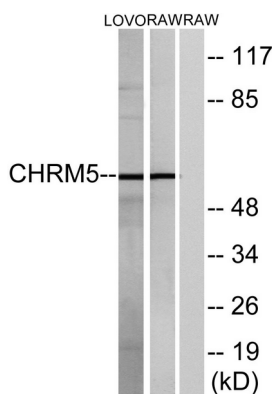
研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;アクチンと細胞骨格を調節します。

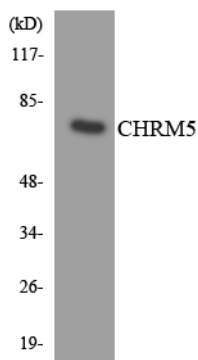
画像データ



CHRM5 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



CHRM5 抗体を用いた LOVO 細胞および RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



CHRM5 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

mAChR M5 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析

